

### 第2章 3. 中国の古典文明 c. 春秋・戦国と鉄器の普及(2)

前8世紀、周は周辺民族の攻撃をうけ首都を[1 洛邑]に移した。このような周の弱体化にともない諸侯は自立の傾向を示した。こうして時代は[2 春秋]時代(前 770 ~前 403)にはいる。しかしこの時代はまだ周の王室の尊重([3 尊王])、他民族から周を守る([4 攘夷])ため、諸侯の指導者([5 覇者])となることをめざしていた。

しかし戦国時代(前 403 ~前 221)にはいると周の権威は完全に喪失、諸侯は独立し抗争をくりかえし、[6 富国強兵]を目的に軍事、産業の発達につとめた。[7 鉄製]農具や[8 青銅]貨幣の使用が普及したのもこのような時代の要請からであった。また君主に政治のありかたを提言した[9 諸子百家]とよばれる一群の思想家たちも現われてきた。

#### d. 古典思想の開花

- ①[10 諸子百家]…春秋戦国時代に現れたさまざまな立場に立つ思想家  
君主に政治のありかたを提言
- ②[11 儒]家  
ア)孔子(前6~5世紀)が開祖、言行録=[12 論語] 著書「春秋」  
魯の歴史書
- [13 孝][14 悌]といった家族道徳を政治の基礎にすえ[15 周]の封建制を理想とする。  
親への尊敬 兄への敬意 (主な主張「16 修身齊家治國平天下」)
- イ)[17 孟子]…性[18 善]説を唱え、[19 徳治]主義による王道政治を主張  
民心が離れる悪政に対しては武力で天子を変えることを認める([20 易姓革命]思想)
- ウ)荀子…性[21 悪]説を唱える→君主の[22 礼]による支配を主張
- エ)教典…五経(易経・書経・[23 詩経]・[24 春秋]・[25 礼記])  
最古の詩集  
四書([26 論語][27 孟子]・大学・中庸)←宋代の[28 朱熹]が重視  
礼記の一部
- ③墨家…[29 墨子]ら  
無差別の愛([30 兼愛])、戦争抑止([31 非攻])、尚賢などを主張  
→儒家の血縁重視の考えを批判、反戦平和を説く
- ④道家…[32 老子][33 荘子]ら  
儒家や墨家を人為的と批判→[34 無為自然]を説く
- ⑤[35 法]家…商鞅、[36 韓非子]、李斯ら  
性悪説にたち、君主の[37 法]と官僚による[38 信賞必罰]による人民操縦を主張  
→とくに[39 秦]の国で重用される
- ⑥その他  
兵家…(呉子、[40 孫子])軍事論、兵法を説く  
→兵家の奥義「41 敵を知り己を知れば百戦危うからず」

縦横家(張儀、蘇秦ら)…君主の外交策を説く(「合従」=蘇秦、「連衡」=張儀)

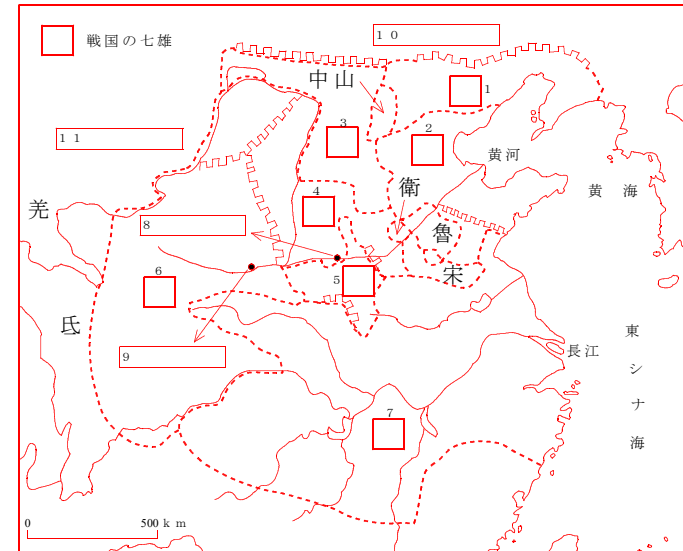
陰陽五行家(雜行)…自然、社会の動きの解明をめざす→易学へ  
名家(公孫竜、恵施)…論理学を説く  
農家…農業技術や農民支配の方法を説く

#### ⑦文学

[42 詩経]…戦国時代に編纂、民謡や祭祀の歌を集める(儒学の教典の一つ)

[43 楚辞]…[44 屈原]ら南方の人々の韻文を集める

#### e. 秦の統一



戦国時代の中国(前4世紀末)

①前[45 221]年 秦王の政、他の六国を滅ぼし中国を統一、[46 始皇帝]と自称

首都を[47 渭水]盆地の[咸陽]におく

政治基調…[48 法家]思想に基づき、急速に[49 中央集権]化をめざす

ア)[50 郡県]制…51\_ 全土を郡と

県にわけ、中央から直接役人を派遣し、統治させる。\_\_\_\_\_

イ)[52 度量衡]、文字([53 小篆])、貨幣([54 半両銭])の統一  
物の長さ・量・重さ

1) 思想統制…[55 焚書坑儒]= 56\_ 実用書以外の書物を焼き捨て、儒者を生き埋めにして殺す

③北方の周辺民族[57 匈奴]を破り、[58 万里の長城]を築き外敵の侵入を防ぐ



④急速な変化に対する反発=[59 陳勝呉広]の乱→滅亡(前 206)

前[60 221]年 秦王の政は戦国の混乱をおさめ中国統一を完成させ、[61 始皇帝]と自称し、首都を[62 渭水]盆地の[63 咸陽]においた。

秦は[64 法]家思想に基づき、急速に[65 中央集権]化をすすめた。地方制度を大きくあらため、中央から官僚を派遣して全国を統治する[66 郡県]制をとるとともに度量衡、文字、貨幣単位の統一などをおこない、思想を統制する目的で[67 焚書坑儒]をおこなった。また外敵の侵入を防ぐため、[68 万里の長城]を築いた。

しかしこのような急速な変革とその厳しい政治体制にたいする不満がたかまり[69 陳勝呉広]の乱がおこったのをきっかけに秦は滅亡する。(前 206)